

「Freshウインズ」特別企画
X'masスペシャル読者プレゼント

よみたん彩発見! リゾート気分で豪華ステイ&ショッピング
日頃から池原建設と広報誌『Fresh ウインズ』をご愛顧いただいているお客様に、クリスマスをお祝いしたビッグなプレゼント! 今月号中面でご紹介した「マザーズアイ・プラス」お買い物券&「Condominium T-Room」宿泊券を、下記のなぞなぞの正解者に抽選で進呈いたします。この機会にぜひ奮ってご応募下さい。



A Condominium T-Room
1泊2日・宿泊券
賞 1~4名様 **2組**

B マザーズアイ・プラス
10,000円分
賞 お買い物券 **15名**

なぞなぞに **読者** 答えて
プレゼント

Q なぞなぞ
動物達がクリスマスツリーの飾り付けを始めました。手伝わなかった動物は次のうちどれ?

① ライオン ② シカ ③ ウシ

ヒント
食べるものに関係があるよ!
“装飾→○食”しない動物が答え

11月号当選者 前号の答え(オオカミ)
★小淵 富枝さん(読谷村在住)
★山城 輪子さん(読谷村在住)
★田原 かれんさん(読谷村在住)

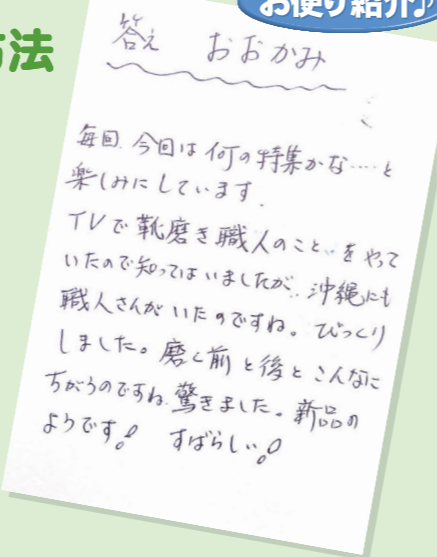
ワイワイ広場
読者プレゼント応募方法

宛先
〒904-0303 読谷村伊良智237-1 ウインズ『広報誌係』

裏
⑤ なぞなぞの答え
⑥ ご希望のプレゼントコース
⑦ ご意見
⑧ ご感想

2020年12月20日消印有効
「当選者は次号(Vol.196)にて発表致します」

『Freshウインズ』は、建築でお手伝いをさせて頂いた施主様をはじめ、地域にお住まいの方など、ご縁をいただいた皆様に配布致しております。諸事情により配布不要となった際は大変お手数ですが、その旨ご連絡下さい。(ウインズ広報誌係)



Fresh ウインズ
人と人のつながりを大切に...池原建設が大切なお客様にお送りする手作り広報誌

Fresh Winds
2020年
12月号
Vol.195
2021
TOKYO 2020

T-Room
Condominium

ウインズのHP・スタッフブログ

Check

住宅のメンテナンスや
補修等のご相談は、お気軽に
スタッフへお声掛け下さい!

0120-229-512 ウインズ 池原建設 検索

読谷村想い合ち手作りマスク1000人プロジェクト

読谷村在住の中村喜美枝さんから、300枚の手作りマスクの寄贈を受けたことを機にスタートしたプロジェクト。有志の皆さんから届いた手作り・市販マスクを、読谷村内で必要とする方や施設へ提供します。

受付先: 読谷村役場 1階 福祉課 tel. 098-982-9209

コロナに明け暮れた2020年も残り1カ月。何気ない日常のありがたさを痛感し、来年こそは元通りの生活ができますように、との思いを誰もが抱いているでしょう。今年もフレッシュウインズをご愛読いただきありがとうございます。2021年が皆様にとってよい年でありますように。

Smile Vision!

日々の生活に十(プラス)して楽しめる作品をセレクト 読谷村長浜「マザーズアイ・プラス」未来を見据えた店づくり



■今年9月11日にリニューアルオープンしたマザーズアイ・プラス店内。従来のマクロビオティック専門店としての顔にセレクトショップ的な機能が加わり、「ワクワクが止まらない宝箱のようなお店」を目指しています！

専門のマクロビオティックにプラスαの要素を盛り込んで、豊かな食卓を提案する地域開放型のショップへ今年9月にリニューアルを遂げ、新たな一歩を踏み出した読谷村長浜の「マザーズアイ・プラス」宿泊施設「T-Room」付設のギフトショップとしての顔も持ち、県内外から幅広い人気を集める同店を訪ね、新店舗での見どころや今後の抱負などを聞きました。

■20年近くの実績を糧に 次のステージへ

マクロビオティックは健康を目的とした食の一ジャンル。今月ご紹介する「マザーズアイ・プラス」はもともマクロビオティック専門店「マザーズアイ」として、2000年に那覇市小禄で産声を上げました。16年に現在の店舗がある読谷村長浜へ拠点を移し、海を望む小高い丘上で営業を開始。マクロビオティック関連商品の販売をはじめ、料理教室、カフェ、ランチ、ケータリング



■緑豊かな庭に囲まれてリニューアルオープンしたマザーズアイ・プラス。新たな植物が加わり、ますます華やかになりました

などさまざまなサービスを展開してきました。「専門店として20年。一人一人のニーズにきめ細かく応える商品をそろえたり、食事の改善方法について個別にアドバイスしたり、お客様と近い距離感でお付き合いしてこられたと自負しています」と振り返る玉城さん。オープン当初からのリピーターも数多く、地元のみならず県外から同店目当てにゲストが訪れることもしばしば。19年にスタッフの妊娠や介護のため一時閉店したものの、出産後は店舗販売から受注販売へ転換して営業を続けてきました。

「でも、お客様にはやっぱり店舗に来てほしい。目の前には緑豊かな庭があるし、五感を解放して食や健康について語り合う時間は、かけがえないものだから。」

日に日にそんな思いが強くなり、「そのためには何か一つでも十(プラス)の要素を加えて再スタートしよう」と実店舗での営業再開に着手。そしてスタッフ全員で話し合い、琉球ガラスややちむん、地元アーティストの作品等々、毎日の暮らしや食卓に

十して楽しめるものを集めて「ワクワクが止まらない宝箱のようなお店にしたいと考えたんです。」
新しい店名の十には、そうした意味が込められています。



■やちむんや琉球ガラスをはじめ、県内外で活躍しているアーティストや絵本作家、紅型作家などの作品を多数取り扱っています。

玉城さんは足元をもう一度見つめ直し、商品選びの際に意識したのは「県内のお客様にもっと喜んでいただけるような表情豊かな商品、かわいがってもらえる作品」であること。一方で来店者にとっては、マクロビオティック関連の食材と一緒に気に入りの商品を買いたい求めることで、自宅でも沖縄の、読谷村長浜の風を感じられ、一段と豊かな食卓体験ができることでした。

店舗では、以前から少し変わった点が一つあります。「なかなかリニューアルしたことに気付いてもらえないのですが、なんと床を張り替えました！土染で染めた優しい茜色の床は、スタッフ全員が共同作業による傑作です」

新しい環境で心機一転。を図るのもいいですが、一つのことを継続してやり遂げるのは別の意味でまた有意義なこと。同店の場合は後者のスタンスに近く、「いろいろ変えてみたい意識もあったんですけどね。まずは今まで愛用して下さったお客様が、今まで以上に楽しんでいただけるお店にしたかったんです」。

■厳しい時代だからこそ周囲を元気づけられる存在に



■「皆さんとお会いできる日を楽しみにしています」と話すオーナーの玉城両児さん・枝味さんご夫妻

とのこと。時期的にはちょうど新型ウィルスによる自粛モード真っただ中であり、「だからこそ沖縄を元気づけるためにも何かしなければ」と皆で結束して、楽しみながら仕上げることができました。リニューアルオープンしたのは9月11日。リピーターにも初めてお店を訪れた人にも新しい店舗スタイルは好評で、「お客様に対して自分たちらしさを提供していったら」と話しています。

■併設のT-Room宿泊客に、滞在の記念となる逸品を

マザーズアイ・プラスの店舗があるのは、全4室のラグジュアリーな宿泊施設 Condominium T-Room (コンドミニウム・T-Room)の敷地内。つまり同店はT-Roomのギフトショップとしての顔も持ち、滞在の記念となるお気に入りのお品を求めて宿泊客が毎日訪れます。

T-Roomに宿泊されるお客様はほとんどが沖縄上級者の旅行者です。読谷村の魅力を感じてもらったため、客室には以前から地元作家さんの作品を置いていたのですが、やちむんに精通した方も多く、「今すぐ買いたい」という声が頻りに寄せられ



■併設のコンドミニウム T-Room。新たに一部客室のテラスや庭でBBQが楽しめます。宿泊券が当たる読者プレゼントは裏面で♪

ていました。今回のリニューアルは、そんな要望に応えることも意識した内容になっています。

コロナ禍はいまだ収束のめどが立たず、たくさんの方がつらく不安な日々を過ごしています。観光・サービス業にとっても、逆風の中での再出発となったのは事実。それでも「どうにか前向きに過ごせてこられたのは、家族や友人、お客様の温かい支えがあったからこそ。今はしっかりと対策を講じて安全・安心な環境を保ちつつ、アフターコロナの時代を見据えて、楽しい未来を築ける企画を進めていきたいですね」と玉城さんはさらに前を向きます。

昨今の厳しい自粛期間を、



■お店の最新情報は Instagram・Facebook でも発信中！

未来に向けた助走期間と捉えるなら、「まだまだ地元とのつながりが少なかった私たちに、交流を広げる一つのチャンス」と解釈することもできます。店頭に並んだアイテムは、玉城さん自慢の品ぞろえであることは間違いありませんが、「こんな作家さんもあるよ！あんな素敵な作品もあるよ！なんて教えてもらえたらうれしいです。お庭遊びやワンちゃんとの散歩、あるいは覗きにきていただくだけでも大歓迎。いろいろレクチャーして下さい」と地域目線で情報を発信中。今月はT-Room宿泊券が読者プレゼントになっていることもあり、当選の下見(?)を兼ねて訪問するのでもいいかもしれません。